

学校だより

津久戸

6月号

令和元年6月3日
新宿区立津久戸小学校

「勇気」と「自信」

校長 牧田 健一

先週は、お忙しい中115周年記念 運動会に大勢の保護者・地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。炎天下の中でしたが、全力で運動に取り組む児童の様子に、皆様の大きな励ましと拍手は、児童の自信につながったのではないかと思います。運動会は終わりましたが、今週はスポーツテストと体育的な行事が続きます。児童の体力向上にも努めてまいりたいと考えています。

さて、体力の向上といえば、体育学習が中心となりますが、体育科で育成したいことは体力だけではありません。例えば、サッカーやバスケットボールの授業を始めると必ず、シュートを打たない児童がいます。シュートできる位置でパスが回ってきても、誰かにパスをしてしまうのです。理由は、シュートを失敗するのが嫌、どうせ入らないという理由からです。そのパスは「人任せパス」「あきらめパス」であり、失敗やその失敗から生じる責任から逃れる行動で、始めからあきらめているという態度については指導が必要です。シュートを打つことで、次の攻撃につながり、チームの力になることを指導し続けなければなりません。これは、体育の授業だけではなく教室でも同じだと思います。教室では、先生や友達から「言葉のパス」がきます。それを受け取らず、黙って人任せにしていれば、個人の失敗や間違いは起きません。ただ、チーム（学級）の力を最大限発揮できるかといえば、そうはならないでしょう。

失敗や間違いは誰でも嫌なものです。それを受け止める力（個人）や、周囲が受容できる態度（集団）が大切になると思います。お互いが相手を信じた良いパス（意見）を出し合い、誰もが信じて出したパスを受け取り、自信をもってシュート（自分の思いや考えを発信・発言）できる学級集団になるよう、各担任は日々児童と接して指導を続けています。前向きな態度、認め合い、励まし合い、お互いを信じて学習に取り組むこと、失敗を恐れず積極的に取り組める、勇気と自信をもった児童を育成できるように取り組んでまいります。

運動会を終えて

元号が変わり、令和初めての運動会。今年は10連休があり、例年よりも練習時間が限られた中で、取り組みましたが、どの学年も見応えある演技や迫力ある競技となり、津久戸小開校115周年にふさわしい運動会となりました。さらに高学年は種目以外に係活動など活躍する場がたくさんありました。この運動会をしっかりと支え、盛り上げて頑張った5・6年生に大きな拍手を送りたいです。

運動会は練習期間を含めると約3週間もかかる一大行事ですが、その子どもたちの成長する姿を見ることができました。運動会後は、スポーツテストや水泳の授業があります。これからも体を動かすことの楽しさを身に付けていってほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、たくさんの声援と拍手をありがとうございました。温かい気持ちに励まされ、子どもたちは力一杯運動会をやりきることができました。また、運動会のスムーズな運営のために、様々な仕事を担当して下さったPTA役員の皆様、本当にありがとうございました。

道徳授業地区公開講座について

今月の学校公開では、学校と地域とが一体となって「こころの教育」について考える機会として、道徳の授業を行います。道徳の授業では、一人一人の児童が課題と向き合い、自らを振り返り、その上で考え議論することを大切にしています。

講演会には、佐藤正和さん（NHKエデュケーショナルこども部プロデューサー）をお招きします。佐藤さんは、子どもたちの創造力を育むべく、「よく観て、よく感じ、よく考える」ことをテーマにした番組を企画・制作されています。子どもたちと一緒に話を聞き、ぜひ家庭でも話題にさせていただいたら幸いです。

日時 14日(金) 2校時 道徳授業(全クラス)
3・4校時 講演会(講堂)

【学年の窓から・・・1年生】

1年1組は、入学式初日から和気あいあいとした雰囲気が始まりました。「みんな、知り合いなの!？」と思わず聞いてしまったほどです。誰にでも話しかけ、仲良くおしゃべりをする事ができるクラスなので、『スマイル・フレンドリー・パワフル』そんな言葉がびったりです。

小学校生活で子供たちに学んでほしいことはたくさんありますが、その中でも特に大切だなと思っていることは、『思いやり』です。誰でも優しい気持ちを心の中にもちつつも『思い』は他の人には見えません。けれど、その優しい気持ちを形にし、行動したり、声をかけたりすることで『思いやり』となって、誰かに優しい気持ちを届ける事ができるのです。お互いに声をかけあって助け合って、みんなで楽しい小学校生活を送っていきたいです。



「先生、体育着は毎日持ち帰らないの?」「ぞうきんは、いつ持って帰るの?」「?」だらけの一年生。分からないことをきちんと質問できて、とってもえらいです。「体育着は金曜日に持ち帰るよ。」「ぞうきんは、7月の終わりに持って帰るよ。」と学校生活のきまりを伝えると、真剣な表情で聞いてくれます。そんな一生懸命な姿を見ていると嬉しくなります。「なんで廊下は歩かないといけないのかな?」「なんで黄色い帽子(校帽)をかぶらないといけないのかな?」一つずつ学校のルールの意味を伝えながら、誰もが安心して学べる環境を作っていきたいと思えます。

先日のアサガオの種まきでは「きれいに咲いてね。」と楽しみにしている様子でした。芽が出てくると「アサガオってすごい!」と驚いていました。水やりも毎日張り切っています。

子どもたちの「?」や「!」を大切にしながら、クラスみんなで楽しく学んでいきたいと思えます。



6月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・廊下を静かに歩こう。
- ・雨の日の過ごし方を考えよう。
- ・名札をきちんとつけよう。
- ・ハンカチを用意しよう。

運動会練習の特別な時間割も終わり、普段の学校生活を見直す時期です。梅雨になると校内で過ごす時間も増えてきます。「津久戸小のきまり」等集団生活ならではの約束を意識して過ごし、身に付けるようにしたいものです。(生活指導部)

